

03 洗脳アナルゼリー相撲

ブルー 「お前はあの時のっ、っく、俺一人でも負け、負け……はっ、はあっ……うう、俺は正義の、み、あ……んひゃ、なんだこれっ!? あ、うそだ、さわられてもいない、のに……ひううう♡!？」

イエロー 「ブルー……ご主人様の前で、先にイっちやうなんてずるいよ。んひいっ♡ ご主人様ぼくのふたなり射精も見てえっ♡ こんな元敗北ヒーローの無様なメス奴隷だけど、よろしくお願い致します♡」

イエロー 「ブルーと一緒に初めてご主人様にご奉仕したときの音声、どう？」

イエロー 「あは♡ この時の、ブルーったらご主人様を見ただけでイっちやっただよ。でも、しょうがないよ、ぼくたちメス穴奴隷は登録されたご主人様への好感度がマックスになるように洗脳されてるから♡ ぼくもあの時は、おちんちんぎんぎんで、ブルーは元の敵愾心そのままだったから、ご主人様に初めて会った時の悦びとのギャップが凄すぎて、体の細胞全部が喜んで♡ イっちやっただよかもね♡ それじゃ、続き、流すよ」

ブルー 「俺はッ、お前になんて、ああ、絶対に服従しないから、な……」

イエロー 「こら、ブルー、ご主人様になんて口利くんだ。それに俺って、乱暴な口調はなしだよ、女の子なんだよ。ああ、ご主人様、申し訳ありません……ブルーはまだ洗脳が途中なんですよ。ほら、ブルー、ちゃんとおねだりして！」

イエロー 「ほら、口の利き方、気をつけないと。せっかく犬耳付けてもらっただから、獣みたいにびしょ濡れのあそこ広げておねだりのポーズ、だよ♡」

イエロー「まだまだ、洗脳途中だからこの時はぼくが足を広げてあげてメス犬っぽくポーズを付けてあげたんだ。ブルーって完全にご主人様のふたなりチンポに視線くぎ付けだったのにキャンキャン吠えて♡メス犬みたいに舌を突き出して、逆にご主人様にとつても楽しんでもらえたんだよ♡」

ブルー「ああ、ううツ……ご主人様……いや違っ、なんだよこの感じは……目の前にいるだけで、あそこがきゅんきゅんしちまって、どうしようもなくドキドキし、くそっ心臓が……くうんツ、あそこからほんとに犬のよだれみたい……俺、男だったのに、ああ♡なんでだよ……くそツ……くそツ」

ブルー「こんなチンポなんて……くうん、や、やめろっ、近づけないで♡……イエローのふたなりチンポより、ごくっ、いやそんなダメだ、はあ、はあっ……♡」

ブルー「ああッ、声、俺の声じゃない……こんな女みたいな、ああ♡ああ♡ひゃああっ、入っちゃった……ん、え、何これ、何これ♡!? あああっ♡♡ つくう、ひう♡ イっちゃ♡ イくううう♡♡!!」

イエロー「ブルーの初めての声、えっちだったでしょ？ぼくももちろん処女を奪ってもらったけど凄かったよ。おちんちんが入ってくるだけで全身に幸せで気持ちいいのが一杯になって僕もブルーも精子や愛液ゴムホースみたいにとびゅどびゅ出しちゃった。リーダーも楽しみにしておいてね♡」

ブルー「ひあっ、ああ♡ ああ♡ ああ♡♡ 初めてのなにに♡!? つくうんっ、だめ、これ、頭壊れっ、ひうっ♡ あ♡♡ あああっ♡♡♡ ちんぽ、抜いて!? いやだっ、俺男なのにオチンポ覚えちゃう!? 初めての膣内で敵い、んひっ♡♡ ご主人様、ご主人様のおちんぽ覚えちゃう♡♡♡!?」

ブルー 「お、おっ♡ んひっ♡!? ……はあ、はあっ♡ あ♡ こんな乱暴に、されてるのにいい♡!? あたまなかしゅきって、くっそ、まけ、ままける、あひいい♡♡! 私は……え、いやおれ、俺はっ、やめろ、こんな負けて、きやうんっ、ひっ、あ♡ ああ♡♡ あああ♡♡!! だめえっ、中へ出されたらっ、耐えなきゃ、耐えて……んぴゅっ♡!? おなかにいっぱいせいし、これだめえ♡!? ご主人様のせーしにまけ、まけておんにゃのこなりたくない!? イくらっ♡ イってるのに♡!? 注ぎ込まないで!? あああ♡♡ あ……」

イエロー 「あはは、リーダー、こんなにオチンポぎんぎんにさせてー。ブルーの寝取られ声そんなに良かった？」

ブルー 「つく、わた……お、俺はご主人様にまだ屈してなんか……」

イエロー 「ブルー真っ赤になって、あー、自分の初めての声聞いて発情しちゃった？ もう、あんなによがってたのにまだ抵抗する元気があるんだよ。さすが、正義の味方。あ、元正義の味方のメス穴候補生だったね♡ 敵だったご主人様のふたなりチンポであれだけ喜んだこな感度のいいどスケベな体で正義の味方なんて無理だよね♡」

ブルー 「ひゃんっ♡……うっ……」

イエロー 「まあ、安心してまだブルーは堕ちてないから。すごいよね。あれだご主人様のふたなりチンポ、女の子の一番奥に入れてもらってだらしく喘いでたのに、」
「口で持ち直しちゃった♡」

ブルー 「つく、心さえくじけなければ……ん、大丈夫だリーダー。俺もまだ耐えきれから……」

イエロー「そんな、ブルーとリーダーに今日は良いもの持ってきたんだ。じゃじゃーん、
アナルゼリーチューブセット♡！ 緑のゼリー液とピンクのゼリー液、その
入ったガラスシリンダー♡ これがメインのぶっといアナルプラグがついた透
明チューブ♡ 一度刺したら簡単に抜けないように、抜け止めもついてるんだ
♡」

ブルー「な、なんだそれ……うう、俺達はそんなものでくじけたりは……」

イエロー「ブルー、せっかくご主人様にメスにしてもらったのに、俺って言うてる、もー
……お座り！」

ブルー「ひゃんっ」

イエロー「きちんと説明してあげるからメス犬らしくおあずけのポーズで待ってようね」

ブルー「くうっ、きやいんっ!？」

イエロー「さあ、二人ともお尻をだして♡ 順番にこのアナルゼリーをいっぱい詰めて、
あ、げ、る♡」

ブルー「な、何言ってるんだ……ま、まさか!？」

イエロー「あー、ブルーにはメス奴隷用の知識を書き込んでたんだっけ？ そうだよ。今
からするのは、リーダー対ブルーの対決勝負！ アナルゼリー相撲でくす♡
!!」

イエロー「大丈夫、この緑のゼリーは何の効果もないただのゼリーだから、ね♡ まずは
ブルーから♡ ガラスシリンダーに入ったゼリーつめたくてなれると気持ち
いよ。ほらあ、どろろろって♡ お尻、ちゃんと突きあげて、こぼさないよう
に尻の穴から飲んでね♡」

ブルー 「おおお、うう、お尻にゼリーがはひって……あはああ、耐えないと……これくらい、んひいつ、こ、これくらいで……俺は……お、お、おぶっ……ぎゅるぎゅるって……くう、洗脳さえ解ければっ……」

イエロー 「すごい、おなかぼっこり、ふふふ♡ 妊娠してるみたいだよブルー♡ あ、もれちゃう前にアナルプラグで、ん、んん、ちよっと力抜いて……んきゅぼつて入っちゃった♡」

イエロー 「あ♡ 次はリーダーね。お尻を高くつきだして、どろどろのゼリーを注ぎこんじゃうよ♡ んふ、お腹の中にとろとろのゼリージェルが注ぎこまれて、ひんやりいい気持ちでしょ♡ シリンダーのお尻にリーダーの中の感触が伝わってほくもドキドキしてきちゃう……ん♡ っしょと。あは♡ リーダー、アナルプラグすんなり入っちゃった♡ すっかり、メス穴になって抵抗なく何でも飲み込めるようになっちゃったね♡」

ブルー 「り、リーダー大丈夫っか……っくう、イエローの奴、すっかり敵側に、ん、なっってしまった、なんとか……うう、腕一本でも自由になればっ……」

イエロー 「チューブにはもう緑のゼリーを詰めてるから♡ チューブの真ん中に注射器でこのピンクのゼリーを入れちゃうね。このピンクのゼリーは強力な洗脳ゼリーで、腸内に入っちゃたら一瞬でいきっぱなしなって洗脳も完全に書き込まれちゃうんだ♡」

イエロー 「ルールは簡単。チューブの仕切弁を開いたら開始で、二人の直腸にたっぷり入れてあげたゼリーをおトイレする感じでひりだして、相手に押し込んだじゃうの♡ 押し込まれなくなったらしっかりおなかに力を込めて耐えようね。さっき言ったように真ん中のピンクのゼリーが相手の直腸に入っちゃうと負け。最後は敗北ヒーローっぽく無様にエッチな感じでイっちゃう姿見せてね♡」

ブルー 「うう、だめ……」

イエロー 「じゃあ、アナルゼリー相撲、始めッ♡!」

ブルー 「んひいっ♡ ゼリーちよつと動いただけでえっ……つく、り、リーダーここは
イエローの、んあ、敵の手に乗ることはないっ、二人ともおなかの力のバラン
スをとって……」

イエロー 「そんなこといって、二人ともおなかぎゆるぎゆるってとっても苦しそうで、い
いんだよ、思いつきりおなかに力入れてゼリーお尻からひりだしちゃって。
とってもすつきりすると思うんだ♡ でも、ブルーとリーダーの苦しそうな声、
もうちよつと堪能しててもいいかなー？」

ブルー 「くそっ、いっそのこと殺せ……こんな見世物みたいにいっ、くうっ、お尻プラ
グに邪魔されてえ、閉まらないからッ」

イエロー 「あは、くっ殺気分ってヤツ？ んふ、大丈夫、洗脳されたら全部いい思い出だ
よ。それに見世物みたいにじゃなくて、見世物なんだよ？ 今までの調教も全
部録画してご主人様達に楽しんでもらえるように保存してあるんだから♡」

ブルー 「ああ、あうううう、リーダー頑張るんだ。俺も頑張るから、同じぐらいで押し
あってれば……」

イエロー 「んー、二人の苦しむ絵はとれたからそろそろ次の展開が欲しいかな？ じゃあ、
ブルーのクリトリスを摘まんじゃいまぐす♡」

ブルー 「や、やめッ、あひいひい♡ 背筋に電気走つれえ♡ 力抜けひやうううッ♡
あああッ、クリいじっちゃ、あぐう、らめえええーッ♡ んんーッ♡♡♡
「!!」

イエロー「あはは、チューブがブルンブルンのたうち回ってるくらい出しちゃったね。だ
いぶ、ブルーのほうにピンクのゼリーが近づいてきたね。おなかも孕んじやつ
たみたいに膨れて、ブルー、ピンチっ！」

ブルー「うぷっ……リーダー、大丈夫？ じゃなくて、大丈夫か？ 俺にかまうなよ……
……リーダーが力を入れないと、あううう……苦しいのにお尻にゼリー入ってく
る感覚う、こんなの……」

イエロー「緑のゼリーは特に気持ちよくなるお薬とかは入れてないんだけどね、お尻の調
教が進んできてるって成果だね。やったねブルー。ほら、今度はブルーが思
いっきり力でリーダーにゼリーのプレゼント送ってあげようよ♡」

ブルー「んううッ♡！ ううううッ！ ああゼリー出る、出るうう♡ また入って、出
てええ♡ ゼリーにアナル犯されて、おかひくなっひやうう……♡」

イエロー「リーダーも、アナルにゼリーが入ったり出たりして、アへって♡ ぷりっぷり
のゼリーをひりだすの気に入ってくれてうれしいよ♡ もっと、情けない敗北
ヒーローの排泄音聞かせて♡」

ブルー「おううう、頑張っても、リーダーに一気にゼリーがいつちまうし、これ、ど
うしたら、ああ、耐えなきゃこんなことでえ、ああああ♡ でも、気を抜
くとゼリー入ってきて、おほおおッ♡」

イエロー「ブルー、頑張れ、頑張れッ♡ リーダーに負けちゃってるよ。んふふ、その
リーダーもゼリーが出たり入ったりする感触に夢中で必死になってる顔かわい
い♡ あ、ブルー、本当に負けちゃうよ。リーダーのことを気にせず、お腹に
たまったゼリーを押し出さないと♡」

ブルー 「おほおッ、もう、らめええ♡ お尻にゼリー出入りして、おかひくなっ
ひやうう、おトイレの快樂がずっと続いてて♡ んくうっ、お、お、おあ♡…
…負けちゃだめだ、これぐらいで、俺は、正義の……くあんっ、おほおっ♡♡
!!」

イエロー 「ああ、ブルーもリーダーもこんなになっても正義の心を忘れないなんて、ぼく
も二人の声を聴いてるとゾクゾクしてふたなりチンポ硬くなっちゃう♡ ほら、
リーダーぼくのふたなりチンポ触ってみてよいつもリーダーのお尻にぶっ刺し
て気持ちよくしてくれてる♡ リーダーをメスにしてあげてるチンポ。あ、
リーダーの子供チンポも気持ちよすぎて切なそうにびくびくしてるね。このまま、
ブルーのストレート負けてても面白くないから、手伝ってあげる♡ ほらあ、
しくこしこ♡ しくこしこ♡ しくこしこ♡ カウパー溢れて、オチン
ポぎんつきんだよ。ほらほらあ、ザーメン、どぴゅどぴゅどびゅッ、どびゆる
るるる♡ ってお漏らしして、お尻の力を抜いちゃえば、ラクになれるよ
」♡

ブルー 「ああ♡ あううう♡ リーダーッ!! 頑張つて耐えるんだッ。つく、力緩め
てリーダーにゼリーが行かないようにしないとイケないのにッ……うひっん、
ゼリーが出てくたびにお尻気持ちよくなってッ、ごめん頑張つてリーダー……」
イエロー 「ブルーもアナルゼリーを気に入ったみたいでうれしいよ♡ ほら、リーダーも
牛さんみたいにオチンポしごかれて鳴いちゃって♡ そのまま情けなく射精し
てピンクの洗脳ゼリーをケツ穴に押し込まれて頭焼き切れるぐらい絶頂アクメ
したらとっても幸せだよーダー。敗北しちやいなよ♡」

ブルー 「うう、だめだ、リーダー、イエローの声に耳を貸しちゃっ……耐えるんだ…
…」

イエロー 「敗北しよ♡ もう負けちゃって気持よくイっちゃって♡ 取り返しのつかいところまで堕ちちゃおうよ♡」

ブルー 「負けちゃだめだ。リーダー」

イエロー 「負けちゃおうよ。リーダー♡」

ブルー 「俺たちが堕ちたら……耐えるんだ。リーダー」

イエロー 「堕ちちゃうのとっても気持いいよ♡ 堕ちちゃおうよリーダー♡」

ブルー 「リーダーなら耐えきれるっ。今までも俺達どんなピンチも乗り越えてきただろ……」

イエロー 「あはは、そんなこと言ってもリーダーのおちんちん限界だし♡ セーしっぱい出してあきらめようよ♡」

ブルー 「あきらめちゃだめだ、俺も頑張るから、リーダー。負けないでくれっ」

イエロー 「んふふ、そういいながらブルー、お尻に力入れちゃってもうピンクのゼリーがリーダーのお尻のプラグのところに来そうだよ？ あとちょっとで、洗脳ゼリーで気持ちよく敗北アクメ味わかるね♡」

ブルー 「つく、そんな……だめだ、リーダー。こうなったら……」

イエロー 「もう緑のゼリーが見えなくなっちゃったね。ぼくもすっごくドキドキしてきたよ。早く早く♡」

ブルー 「ふう、ふう……ん、んん」

イエロー 「あれ？ もう、ピンクのゼリーがリーダーの直腸に触れてもいいころ合いなだけど、あれれ？ それどころか逆に押し出されて……」

ブルー 「ふうっ、んお、おなかの力全部、抜くのって、なかなか難しかったけど、へへへ、これでリーダーはたすか……んぐう、あああっ♡!!」

イエロー「ちょっと意外、うわー、ほんとにお腹の力全部抜いちゃって、あーあー、一気にゼリーが全部ブルーにながれこんじゃったね。あ、ピンクのゼリーもあっさり入っちゃった」

ブルー「おおおおお、あ♡ ひiiiiiiii♡ ゼリー入っちゃった!? 予想してたのより全然♡!? イグ♡ イグうう♡♡ イグイグイグうう♡♡ イって、イグのお♡ あおおお♡ 連続アクメ♡♡ 止まらないひiiii♡♡! んお、おおおッ♡♡♡!」

イエロー「勝負はブルーの自爆で決着かー。あ、リーダー射精しちゃって、そんなにブルーにアナルゼリーひりだすの気持ちよかった? びゅ、びゅーって今度はブルーのお尻に注ぎ込んであげようね♡ それじゃあ、ブルーもプレゼントでチューブ抜いてあげる。敗北ゼリー排泄楽しんでね♡」

ブルー「んおおお♡♡♡ 出てるうッ、私の中のアナルゼリー全部ぶりぶりゆってひりだしてるの♡♡♡!! ひうう、気持ちiiii♡♡♡— あ、あ♡ あ♡♡♡ あ、いきゅう♡♡!! おひiiiiiiii、い——♡♡♡!!」

イエロー「ああ、すっごい♡ 緑ゼリーの噴水がアナルから溢れて、止まらないね。ブルーったら、スライムに犯されちゃった後みたい♡ ブルー、ブルーっ? あれ、お尻からゼリー噴水どびゅらせながら、気絶しちゃったみたいだね、えへへ♪」